25 journal society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

投資を促す元年となるか

1000兆円を超える個人貯蓄は

日本株に割安感、卯年は跳ねる

2023年は長年課題とされてきた「貯蓄から投資」を促す元年となるだろうか。現預金に滞留する個人マネーを刺激する政策が2022年末に決まった。政府は少額投資非課税制度（NISA）を拡充して恒久化する。1000兆円を超える個人貯蓄は動き出すのか。（東京25ジャーナル・岡村信良）

「卯年は跳ねる」。相場格言からすれば大いに期待が持てる。大手証券の調べでは、1927～2011年の過去8回の卯年のうち、年末の株価が前年末を上回ったのは5回。十二支の中では巳年と並んで7位タイと平均的な成績だ。ところが、上がるときは大きく「跳ねる」。過去8回の年間騰落率を平均すると15・5％で、十二支中3位に浮上する。このうち30％を超えた年が計3回あるのも特徴だ。それは第2次世界大戦勃発の39年、朝鮮戦争特需の51年、ITバブル期の99年だ＝表。

そんな統計などと一笑することは簡単だが、みんなが「卯年は跳ねる」と思えば、現実になるのが相場だ。

それこそあてにならないのだろうが、年初恒例の経済アナリストらによる日経平均の予測はおおむね2万5000円～3万2000円。大発会以来、日経平均は2万6000円を挟んだ動きをしているので、今買えば年末までには大概儲けを出せるという感じだ。

終わりが見えないウクライナ戦争、世界的インフレ、インフレを抑制するための各国中央銀行の金融引き締め政策による経済の落ち込みなど、株式相場にはネガティブな材料がそろい踏みだが、それほど悲観がないのが現状の日本株相場だ。むしろ年初にもたつきながらもリスクオンに傾き出している感さえある。

背景にあるのが、世界の中で割安な日本株という評価だ。株価が割安かどうかを判断する指標に株価収益率（PER）がある。PERは、株価÷1株当たり利益で算出することができ、一般にPERの数値が小さいほど割安と判断される。

東証株価指数（TOPIX）は、昨年、ウクライナ情勢や主要中銀の大幅利上げに伴ってやや軟調に推移した。だが、企業利益の予想はほぼ横ばいとなり、PERは過去20年の平均16倍ほどに対して、12倍台で推移してきた。12倍台は米国などの18倍台に比べ、バーゲンセールとも言える数字だ。

しかもPBR（株価純資産倍率）が1倍以下の銘柄がごろごろしているのが、今の日本株市場だ。PBRは、「株価が企業の純資産（資産価値）の何倍で買われているか」を示し、1を上回るか下回るかで割安かどうか判断される。1を下回ると割安、1を上回ると割高となる。

ちなみに年末から騰勢を強めている三菱UFJ（8306）は1月16日で株価は950円ほど、PBRは0・69倍、PERは11・5倍だ。1株純資産は1382円ほどで、950円で勝った人は三菱UFJが解散すれば、1382円引く950円で432円ほどの儲けになる。

三菱UFJの株価はリーマンショック前の2006年に1950円の高値を付けている。1株純資産は当時に比べ2倍ほどになっているが、株価はこの高値より半分ほどに位置しており、単純比較すれば三菱UFJの株価は4000円まで買われる可能性もあるということだ。

こうした指標に加え企業経営者も自己資本利益率（ROE）を意識した経営姿勢に移り始めている。何より企業の内部留保550兆円と冒頭の個人貯蓄1000兆円超が動き出すことへの期待が大きい。日本人は動き出せば右へならえの傾向がある。みんなで渡れば怖くない、ということだ。株式を保有すれば当然下がるリスクがあるが、間もなく日本株は「持たざるリスク」を意識させる展開になるというのが強気筋の見方だ。

相場上昇は地域経済に好影響！

「日本株相場が上がろうが下がろうが、地域経済には関係ない」というなかれ。日本株相場を支える大きな力の1つになっているのが、零細を含め中小企業の経営者や個人事業主だ。日本株相場が上がり、この層の可処分所得が増えれば、地元にお金が落ち、地域経済は回り始める。日本株相場が上がろうが下がろうが関係ないではすまされない関係にあることを多くの人が認識すべきだ。

春闘では多くの大企業が賃上げに前向きだ。利益が従業員の給料に回ることは株主には一時的にはマイナスだが、人材が確保され、企業の成長が継続すれば、中長期ではプラスといえよう。バブル崩壊後続いたお金が動かないデフレ経済に今度こそ終止符を打ち、日本経済が跳ねることを期待するばかりだ。

卯年の相場は跳ねる？

過去の卯年	年間騰落率	主な出来事
1927年	↓13・6%	昭和金融恐慌
1939年	↑39・8%	第二次世界大戦勃発
1951年	↑62・9%	朝鮮戦争特需
1963年	↓13・8%	ケネディ米大統領暗殺
1975年	↑14・2%	第1次石油危機（73年）に伴う景気悪化
1987年	↑15・3%	世界的な株価大暴落「ブラックマンデー」
1999年	↑36・8%	ITバブル期
2011年	↓17・3%	東日本大震災、欧州金融危機

石川酒造株式会社
福生市の気軽に遊びに行ける酒蔵

日本酒とクラフトビールを醸造する酒蔵で、直売店やレストランを併設。緑の多い癒やしの空間。
公式サイト ▶▶▶
東京都福生市熊川1番地 石川酒造 検索

優等賞受賞
多満自慢 純米大吟醸
贈り物として喜ばれる日本酒
令和四年 東京国税局酒類鑑評会で優等賞を受賞した多満自慢の逸品。包み込むような吟醸香と洗練された味わいは手間ひまと時間をかけたからこそ。贈り物にも最適です。
お酒は20歳になってから。

寺は文化の発信地　創ろう地域の文化を人から歴史から
そうぜんじ便り―師走
第74回土曜講座（お茶代300円）　1月28日 13時～15時
○ イス坐禅とお話し　住職　高井正俊
○ 講談「宮本武蔵」1　講談師　菊地　玉雲師
○ 私のしてきたこと「民謡ひとすじ」　羽村在住民謡歌手　伊庭　末雄先生
学生無料。予約不要。檀信徒以外の方の参加大歓迎。
子育て中のお母様の居場所　くれよんの会　1月27日（金）　午後1時～午後2時半
子育て中のお母様が、日頃からなかなかお話しすることができない悩みをお話ししたり、毎日子供たちだけと顔を合わす生活の中での、つかの間のホッとする時間を持てる場所づくりとして始めています。

臨済宗建長寺派 宗禅寺　羽村市川崎2丁目8-20　☎042-554-1276